

城東中学校武道場

吊天井耐震対策工事

図 面 リ ス ト					
No.	図面名称	No.	図面名称	No.	図面名称
A-01	建築工事 改修特記仕様書 1	A-16	軽量天井 SLC工法詳細図 設備取り合い (参考)	E-01	電気設備工事 特記仕様書
A-02	建築工事 改修特記仕様書 2	A-17	補強クリップ納まり詳細図 (参考)	E-02	照明器具姿図
A-03	建築工事 改修特記仕様書 3			E-03	電灯設備 1階平面図
A-04	敷地案内図			E-04	弱電設備 1階平面図
A-05	建物概要・内部仕上表			E-05	自動火災報知設備 1階平面図
A-06	配置図 兼 仮設計画配置図 (参考)				
A-07	平面図 兼 仮設計画平面図 (参考)				
A-08	天井伏図 (現況)				
A-09	天井伏図 (改修)				
A-10	断面図 (現況・改修)				
A-11	断面詳細図 (現況)				
A-12	断面詳細図 (改修)				
A-13	部分詳細図 (現況・改修)				
A-14	軽量天井 SLC工法詳細図 勾配部 (参考)				
A-15	軽量天井 SLC工法詳細図 水平部 (参考)				

特 記				工事名 城東中学校 武道場吊天井耐震対策工事		承認				管理建築士	印			
						図名 表紙	縮尺	図面番号	図面提出日					
									2021 / 6 / 7					

工 事 特 仕 仕 書 (改 修)	
Ⅰ. 工事名称	城東中学校 武道場吊天井耐震対策工事
Ⅱ. 工事概要	
1 工事場所	三重県伊賀市印太町長良450-8他
2 敷地面積	28.296.90m ²
3 工事内容	
様名称	武道場
構造	3層
建築面積	388.26m ²
延べ面積	345.24m ²
工事項目	吊天井耐震対策工事 吊天井耐震対策工事に伴う電気設備工事 上記に伴う資材処分工事

Ⅲ. 建築改修工事仕様

- 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

2 特記仕様

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
- (3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改標仕の該当項目等を示す。

①

一般公共工事事項

①

適用基準等
(1, 3, 5)

②

施工条件

③

部分引渡し、部分使用

④

埋蔵文化財調査

⑤

発生材の処理等
(1, 3, 12)

1) 公共建築工事業標準仕様書（建築工事編）
国土交通大臣官庁官庁管理事務部監修（平成31年版）
2) 公共建築工事業標準仕様書（建築工事編）
国土交通大臣官庁官庁管理事務部監修（平成31年版）
建設工事標準詳細図
国土交通大臣官庁官庁管理事務部監修（平成28年版）

○ 監督員と協議し決定する。

施工可能日

- 指定なし
- 一部に上、日曜日、祝祭日施工あり

施工可能時間帯

- 指定なし ○ 8:30～17:00

現場入場 時 以降
概成工期

- 指定なし ○ 契約の日から 令和 3年 9月 15日
- 武道場の改修は7月21日以降、部室の改修は8月以降に着手すること。

部分引渡しあり

部分使用あり

指定部分（ ）

時期（平成 年 月 日～ ）

埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。

- 発掘調査等の実施あり
- 発見された発掘、発掘調査等の実施あり

本工事は、その施工に特定建築物の使用を 使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事業の規模に関する基準以上となる工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

工事実施後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件より若い場合には、監督員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有 ・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・有 ・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	・有 ・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
屋根	・有 ・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	○有 ・無	○手作業 ○手作業、機械作業の併用
その他（ ）	・有 ・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用

引き渡しを要するもの

有（ ）

特別管理産業廃棄物

有（ ）

処理方法（ ）

取壊において再利用を図るもの

（ ）

再資源化を図るもの

コンクリート塊

アスファルトコンクリート塊

建設発生木材

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調査を作成し、監督員へ提出すること。

引渡を要するものの以外のものは、全て構外に搬出し、建設リサイクル法、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員に報告すること。（マニフェストA、B2、D、E類を提示すること。）

成形等後の解体・搬出にあたっては、事前にアスベスト含有に係る建設調査を行う。含有が判明した場合、改修標準仕様書(9.1.5)に従い処理する。

⑥

建設副産物情報交換システムの利用

⑦

三重県産業廃棄物税

⑧

電気保安技術者
(1, 3, 3)

⑨

技能士
(1, 6, 2)

再生資源の利用又は建設副産物の抽出がある場合、受注者は受注時に工事費納入金額が百万円以上の工事については工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。

また、工事開始時にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実行報告を行うこと。

本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式「産業廃棄物税納付証明書」を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。

なお、この期間を超えた請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

適用する

職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。

1

施工数量調査
(1.5.2)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

建築材料等

1

調査範囲及び調査方法
・ 工種別の特記による

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分の補修
(1.5.3)

1

調査のための
破壊部分

27	主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間	1) 現場施工に着手するまでの期間 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。 2) 検査終了後の期間 検査完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した日、発注者に通知した日とする。
28	工事の一時中止	工事の一時中止の取り扱いについては「工事の一時中止のガイドライン（案）」（平成27年6月 国土交通省）による。三重県建設工事契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。
29	建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重	建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 $V_{30}=34 \text{ m/s}$ 地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ） 積雪区分（Ⅰ）
② 仮設工事	1 騒音・粉じん等の対策 (2.1.3) 2 足場 (2.2.1) (表2.2.1) 3 既存部分の養生 (2.3.1) 4 仮設間仕切り (2.3.2) (表2.3.1) 5 監督員事務所 (2.4.1) 6 監督員事務所の設備、備品等 (2.4.1)(2)(7) 7 仮設便所 8 工事用水 9 工事用電力 10 交通誘導警備員	・ 防音パネル 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ） ・ 防音シート 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ） 足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2.の（2）手すり設置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。 外部足場 ○ 設置する（設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない 防護シート ・ 設置する（設置範囲 ・ 工事に必要な範囲 ・ ） ・ 設置しない 内部足場 ○ 設置する（○ 細立足場 ○ 横足場 ・ ） ・ 設置しない 材料、搬入材等の運搬方法 種別（ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種 ） C 種：利用可能なエレベーター（ ） D 種：利用可能な階段（ ） 既存部分の養生 ○ 図示（図面番号： A-07） 既存ブラインド・カーテンの養生 養生方法（ ） 保管場所 ・ 構内既存施設内 ・ （ ） 固定された備品、机、ロッカーの移動 ・ 行う ・ 行わない 屋内の仮設間仕切り ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 合板 厚さ ・ 9mm ・ （ ） せつこうボード 厚さ ・ 9.5mm ・ （ ） 合板又は石膏ボードの塗装 ・ 行う ・ 行わない 設置箇所 ・ 図示（図面番号： ） 仕様 ・ 合板張り木製扉 ・ （ ） 配置 ・ 図示（図面番号： A- ） ○ 夏休み工事の為、不要（2学期に工事をする場合必要）
3章・4章は省略		

3章・4章は省略

特記		工事名 城 東 中 学 校 武 道 場 吊 井 耐 震 対 策 工 事				承 部				管理建築士	印
		図名 建築工事 改修特記仕様書 1	図尺 NS (A 2)	図面番号 A - 0 1							
						図面提出日	2021 / 6 / 7				

⑤ 建具改修工事

改修工法 (5.1.3)	・ かぶせ工法 ・ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法
2 防火戸 (5.1.4)	・ 撤去工法 ・ はつり工法 ・ 引抜き工法
3 見本の製作 (5.1.5)	・ 例示仕様 ・ 個別認定 (認定番号:) ・ 自動閉鎖機構 ・ 図示 (図面番号:)
4 防犯建物部品 (5.1.7)	・ 図示 (図面番号:)
5 プラインドボックス等 (5.1.6) (3)	・ 再使用する ・ 再使用しない
6 アルミニウム製建具 (5.2.2) (5.2.4) (表5.2.1) (表5.2.2)	外部建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 枠の見込み寸法 ・ 70mm ・ () ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号:) アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別 ・ 外部に面する建具 (過酷な環境の建具) ・ BA-1 ・ BA-2 ・ () ・ 外部に面する建具 (一般的な環境の建具) ・ BB-1 ・ BB-2 ・ () ・ 内部に面する建具 ・ BC-1 ・ BC-2 ・ ()
7 網戸 (5.2.3) (5)	・ 可動式 ・ 固定式 防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ
8 樹脂製建具 (5.3.2) ~ (5.3.5) (表5.3.1) ~ (表5.3.3)	外部に面する樹脂製建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ ガラス ・ 複層ガラス ・ () ・ 建具特見寸法 ・ 図示 (図面番号:) ・ 水切り ・ 図示 (図面番号:) ・ ぜん板 ・ 図示 (図面番号:) ・ D番 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.3) による ・ 図示 (図面番号:)
9 鋼製建具 (5.4.2) (5.4.4)	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ H2400又はH950の建具 ・ 鋼板厚さ ・ 図示 (図面番号:) ○ 既存ドアクローザ故障片側除去の上、ドアクローザ新設 (2カ所) ○ にぎり玉 1カ所
10 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2) (2) (5.5.3) (5.5.4) (5.6.3) (1) (5.2.3) (1)	鋼製軽量建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) ・ H2400又はH950の建具 ・ 鋼板厚さ ・ 図示 (図面番号:) 表面仕上げ ・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面) ・ ()
11 ステンレス製建具 (5.6.2) (5.4.2) (5.6.3) (5.6.4) (5.6.5)	ステンレス製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級) ・ 耐震ドアセット (等級) 材料 ・ SUS304 ・ () 表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ () 曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ
12 建具用金物 (5.7.2) (5.7.4)	金物の見え掛かり部等の材質等 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.1) による ・ 図示 (図面番号:) マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない ・ 引渡用鍵筒 ・ 必要 ・ 不要

13	自動ドア開閉装置 (5.8.2)	駆動装置及び排出装置の性能値 () ・ 多機能トイレ出入口 () ・ 図示 (図面番号:)
	(5.8.3) (表5.8.4)	引き戸用排出装置の種類 ・ 図示 (図面番号:)
14	自閉式上吊り引戸装置 (5.9.3)	凍結防止措置 ・ あり ・ なし
		自閉式上吊り引戸装置の性能値 ・ 改修標準仕様書(表5.9.1)による ()
15	重量シャッター (5.10.2)	種類 ・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター
	(5.10.2) (3) (表5.10.1)	耐風圧強度 (Pa以上)
16	軽量シャッター (5.11.2) (表5.11.1) (5.11.3) (5.11.4)	開閉機能 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式
	(5.10.2) (6) (5.10.3)	一般重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ()
17	オーバーヘッドドア (5.12.2)	開閉形式 ・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式
	(5.11.2) (3) (表5.11.1) (5.11.3) (5.11.4)	耐風圧強度 (Pa以上)
18	オーバーヘッドドア (5.12.2)	スラットの材質及び形状 ・ インターロック型形 ・ オーバールッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 () JIS G 3322 ・ AZ90 ()
	(5.12.3)	型式及び機構 セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ
19	オーバーヘッドドア (5.12.2)	耐風圧強度 (Pa以上)
	(5.12.3)	開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式
20	オーバーヘッドドア (5.12.2)	収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形
	(5.12.3)	ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板
21	板ガラス (5.13.2) (1) (5.13.4)	・ 図示 (図面番号:)
	(5.13.2) (2)	・ シーリング ・ ガスケット ()
22	ガラス製の寸法、形状等 (5.13.3)	・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書 (表5.13.1) による
	(5.13.3) (1) (5.13.5)	ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:) 金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:)
23	ガラス製の寸法、形状等 (5.13.3)	化粧カバー ・ 図示 (図面番号:) 工法 ・ 図示 (図面番号:)
	(5.13.3) (2) (5.13.5)	建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。
24	排煙窓オペレーター	故障力所修繕 (1カ所)

3 既存壁撤去、下地補修 (6.3.2)

4 木下地等 (6.5.1) (3)
(表6.5.1)
(表6.5.2)
(6.5.2) (1) (4)
(表6.5.2)
(6.5.2) (2) (7)

既存切替切替の撤去に伴う他の構造物の補修方法
()

表面仕上げ
・ A種 ・ B種 ・ C種
・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種

木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比)

部材名称	種 別
下地材	・ A種 ・ B種
造作材	・ A種 ・ B種

製材
「製材の日本農林規格」による製材

部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質
下地用	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
針葉樹製材					
造作用	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
針葉樹製材					
広葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()

(6.5.2) (2) (4)
(6.5.2) (2) (7)
(表6.5.4)

「製材の日本農林規格」以外の製材
樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示 (図面番号:)
造作材の材面の品質 ・ A種 ・ ()
樹種

部 位	樹 種	規 格	供 産 材

(6.5.2) (3) (7)

造作用集成材
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

部 位	品 名	樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ
造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)		
化粧り造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)		・ ()
化粧り構造用造作用集成柱	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)		・ ()

(6.5.2) (3) (4)
(6.5.2) (4) (7)

「集成材の日本農林規格」以外の製材
樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示 (図面番号:)
含水率 ・ 1.5%以下 ・ ()

造作用単板積層材
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

部 位	品 名	寸 法	表面の品質	防虫処理
造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()

(6.5.2) (4) (7)

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
寸法、表面の品質、防虫処理 ・ 図示 (図面番号:)
含水率 ・ 1.4%以下 ・ ()

(6.5.2) (5)

「直交集成板の日本農林規格」による直交集成板
品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示 (図面番号:)

(6.5.2) (6)

・ 合板等

品名 (品目)	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ

(6.5.3) (1)
(6.5.3) (2)

接合具等
造作材化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ ()
塗金物
形状、寸法及び材質 ・ 図示 (図面番号:)

(6.5.5) (1)

・ 防露、防蟻処理
適用部位 図示 (図面番号:)
保存処理性能区分 ()
薬剤の塗布等の処理方法 ()
附属書Aに基づく表面処理用木材保存剤 ・ 適用する (・ 薬剤の種類 () ・ 適用部材 ())
ボード原料接着剤への防露・防蟻処理 ()

(6.5.5) (2)

・ 防虫処理
図示 (図面番号:)

(6.6.1) (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)

軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類
・ 屋内 ・ 19形 ・ ()
・ 屋外 ・ 25形 ・ ()

形式及び寸法
・ 屋外 ・ 図示 (図面番号:)
・ 耐震天井 ・ 図示 (図面番号:)
・ ふところ $\geq 1.5m$ ・ 改修標準仕様書 (6.6.4) (8) ・ 図示 (図面番号:)
○ 耐震対策天井システム 軽量天井 2.0kg/m²以下 (武蔵場)
(SLC工法: 旭ビルド工業(株)同等品)
○ 耐震対策天井システム 野縁クリップ積層 (武蔵場以外の重)
(クリップ工法 積層クリップ™: (株)テンビルド同等品)

(6.6.4)

既存埋込みインサート
・ 使用する (※使用する場合は、確認試験を行う)
既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験
・ 行う (図示 (図面番号:)) ・ 行わない
・ 確認試験の箇所数 (箇所) ・ 確認強度 ()

耐震性・耐風圧性を考慮した補強
・ 図示 (図面番号:)

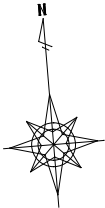
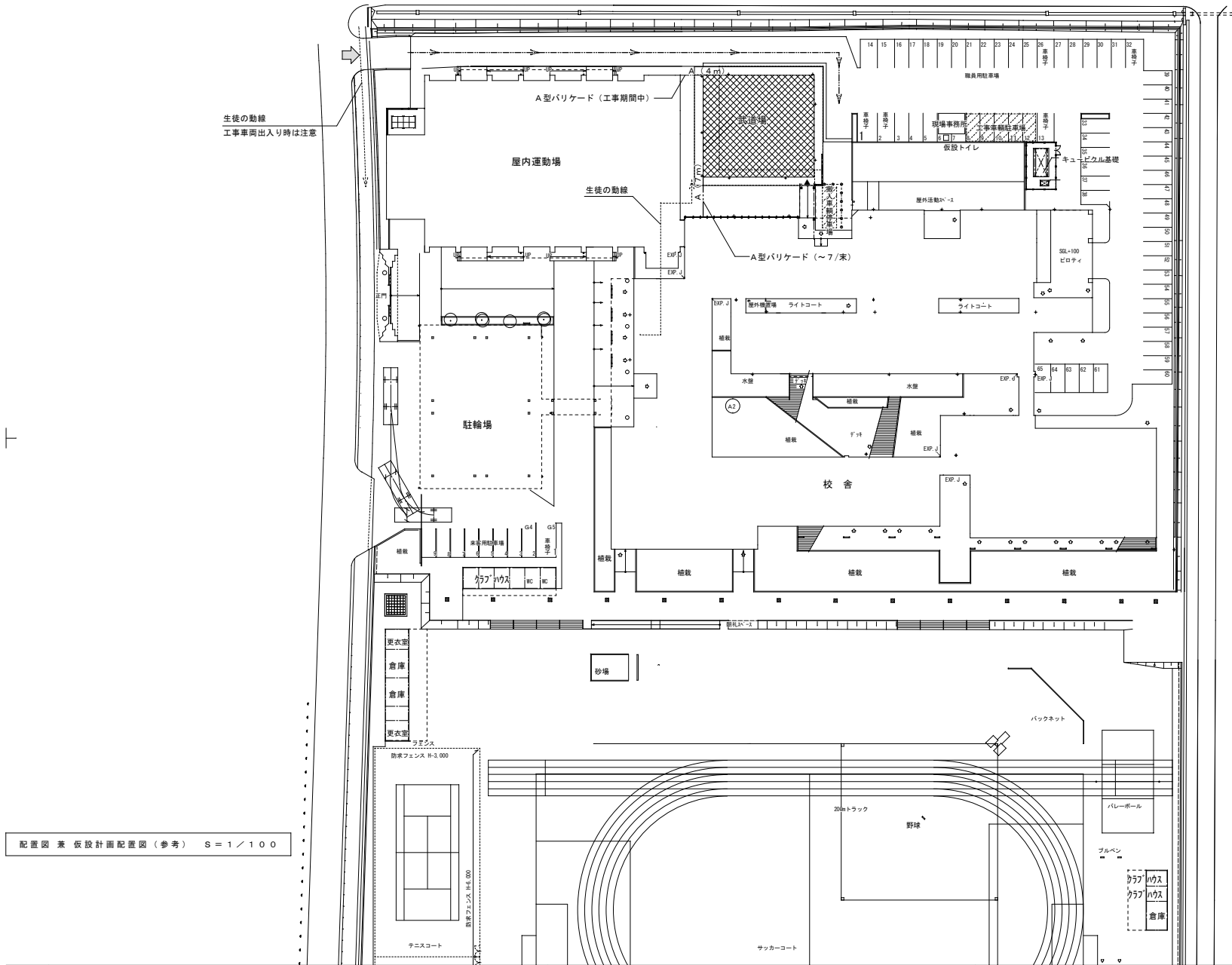
特 記	工事名		城 東 中 学 校 武 道 場 吊 天 井 耐 震 対 策 工 事			承 認					管 理 建 築 士	印
	図名		縮尺	図面番号								
	建築工事 改修特記仕様書 2		NS (A 2)	A-02								
						図面提出日					2021 / 6 / 7	

[illegible]

工 事 概 要			※（ ）内寸法は平均ＧＬからの高さを示す。		●印は本工事に該当	
名称			棟 別 概 要	棟 名	１．武道場	
地名地番				用 途	武道場	
敷地面積				工事種別	○新築 ○増築 ○改築 ●既存改修	
都市計画				階 数	地上１階、地下０階	
				構 造	Ｓ	
敷地概要				最高の高さ	８．２５０ｍ	
				最高の軒高	４．７００ｍ	
				建築面積	３８８．２６㎡	
用途地域			床 面 積	１階 ３４５．２４㎡		
防火地域						
				合計 ３４５．２４㎡		
基準建ぺい率（％）			設 備 工 事	電気設備	設備図参照	
基準容積率（％）				消防設備	設備図参照	
道路・壁面後退				空調設備	設備図参照	

内 部 仕 上 表														
階	室 名	現況	法的規制		床	巾 木	H	腰 壁	壁	天 井	天井高	廻 縁	備 考	
		改修後	居室種別											
1	玄関	現況	－	下 地	コンクリート金ゴテ押え	木製巾木	6.0		LGS、ベニヤ合板 厚12	LGS	2.400	塩ビ製 撤去		
			非居室	仕 上	磁器質タイル 300角				羽目板張 厚12	PB 厚9.5 AEP塗装 撤去				
		改修後	－	下 地		現況のまま				野縁クリップ補強	現況のまま	塩ビ製 新設		
			非居室	仕 上	現況のまま				化粧PB 厚9.5 新設					
	武道場	現況	自然排煙	下 地	フローリング 厚18	木製巾木	6.0		LGS、ベニヤ合板 厚12	LGS、ベニヤ合板 厚12	LGS 撤去	4.000 ～ 5.650	－	
			居室	仕 上	ユニットフロアー（ベースパネル 厚15）				羽目板張 厚12	PB 厚12 AEP塗装	PB 厚9.5 AEP塗装 撤去	5.650		
		改修後	自然排煙	下 地		現況のまま				軽量天井下地 新設	4.000 ～ 5.350	－	排煙オペレーター 修繕 1カ所	
			居室	仕 上	現況のまま				現況のまま	化粧ガラスウール板 厚25 新設				
	倉庫	現況	－	下 地	コンクリート金ゴテ押え	ビニル巾木	6.0		LGS	LGS	2.400	塩ビ製		
			非居室	仕 上	エポキシ樹脂系塗床				PB 厚12.5+PB 厚9.5	化粧PB 厚9.5 撤去				
		改修後	－	下 地		現況のまま				野縁クリップ補強	現況のまま	現況のまま		
			非居室	仕 上	現況のまま				化粧PB 厚9.5 新設					
	部屋 1～6	現況	－	下 地	コンクリート金ゴテ押え	塗床立上げ	1.00		LGS	LGS	2.400	塩ビ製		
			居室	仕 上	エポキシ樹脂系塗床				PB 厚12.5+PB 厚9.5	化粧PB 厚9.5 撤去				
		改修後	－	下 地		現況のまま				野縁クリップ補強	現況のまま	現況のまま	扉：ドアチェック 撤去新設 2カ所 扉：にぎり玉 撤去新設 1カ所	
			非居室	仕 上	現況のまま				化粧PB 厚9.5 新設					

特 記				工事名 城 東 中 学 校 武 道 場 吊 天 井 耐 震 対 策 工 事							承認				管理建築士	印		
				図名 建 物 概 要 ・ 内 部 仕 上 表			図尺 1/100（A2）			図面番号 A-05								
	図面提出日 2021 / 6 / 7																	



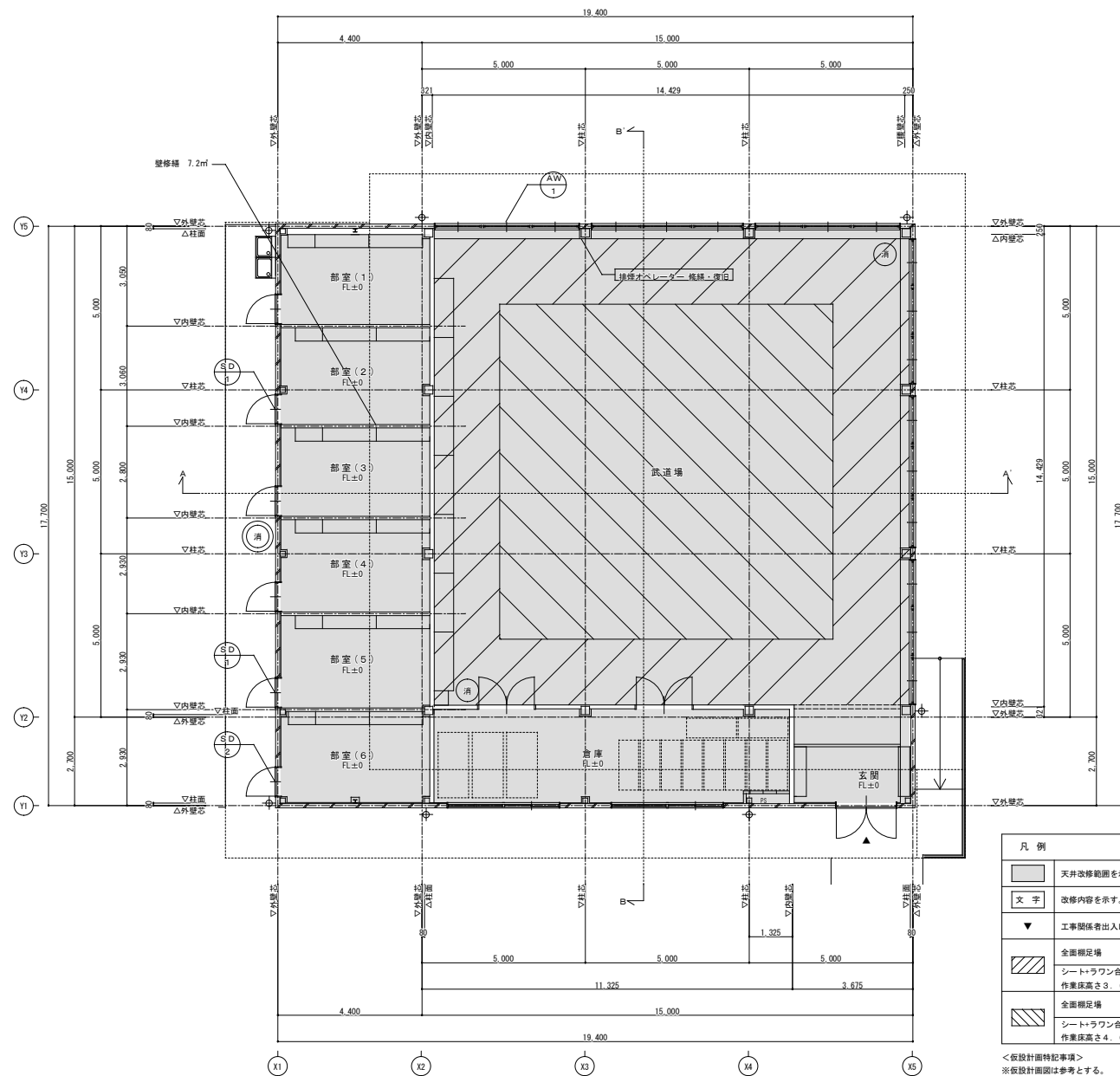
凡 例	
	工事車両出入口
	資材搬入・搬出ルート
	A型バリアード L=11m
	コーン、コーンバー
	工事関係者出入口
	工事対象建築物を示す。

<仮設計画特記事項>
※仮設計画図は参考とする。
※仮設計画図や作業員の駐車スペースは、学校側と協議の上、決定すること。
※本仮設計画に記載された仮設設備などは発注者側の積算上の考えを示したもので、
施工条件として指定したものでないため、施工者の責任のもと十分検討したうえ施工すること。
※必要に応じて適切な路面などの養生を行うこと。
※工事車両等は、校内において最速行にて通行すること。
※令和3年8月30日以降は交通誘導警備員の配置を協議すること。

配置図 兼 仮設計画配置図（参考） S = 1 / 100

特 記	工事名				承認			管理建築士	印
	城東中学校 武道場天井耐震対策工事								
	図名								
	配置図 兼 仮設計画配置図（参考）								
	縮尺				図面番号				
	1/100（A2）				A-06				
	配置図 兼 仮設計画配置図（参考）				図面提出日				
				2021/6/7					

符号	形式	SD 1 片開きフラッシュ戸		2ヶ所
※ 図		2,000 700 400 600 850		
位置	数量	居室(2)(5)	2	
見込	枠見込	40	80	
材料	番据	鋼製	ST製HL	
硝子	網入型ガラス - 6.8			
仕上	焼付塗装			
金物	ST製握玉、ST製丁番、ノストップDC、FD付 シリンダー本締錠、室名札(B:バックヤードサイン)			
備考	防火設備			
改修内容	ドアチェック 撤去新設			
符号	形式	SD 2 片開きフラッシュ戸		1ヶ所
※ 図		2,000 700 400 600 850		
位置	数量	居室(6)	1	
見込	枠見込	40	80	
材料	番据	鋼製	ST製HL	
硝子	網入型ガラス - 6.8			
仕上	焼付塗装			
金物	ST製握玉、ST製丁番、ノストップDC、FD付 シリンダー本締錠、室名札(B:バックヤードサイン)			
備考	防火設備			
改修内容	握り玉 撤去新設			
符号	形式	AW 1 外側し達窓		1ヶ所
※ 図		1,800 700 750 1,413 70 1,413 70 1,413 70 4,380 排煙オペレーター		
位置	数量	武道場	1	
見込	枠見込		70	
材料	番据	アルミ製		
硝子	TG-4			
仕上	アルマイト			
金物	附属金物一式 オペレーター			
備考	開き角度45°			
改修内容	排煙オペレーター 修繕			



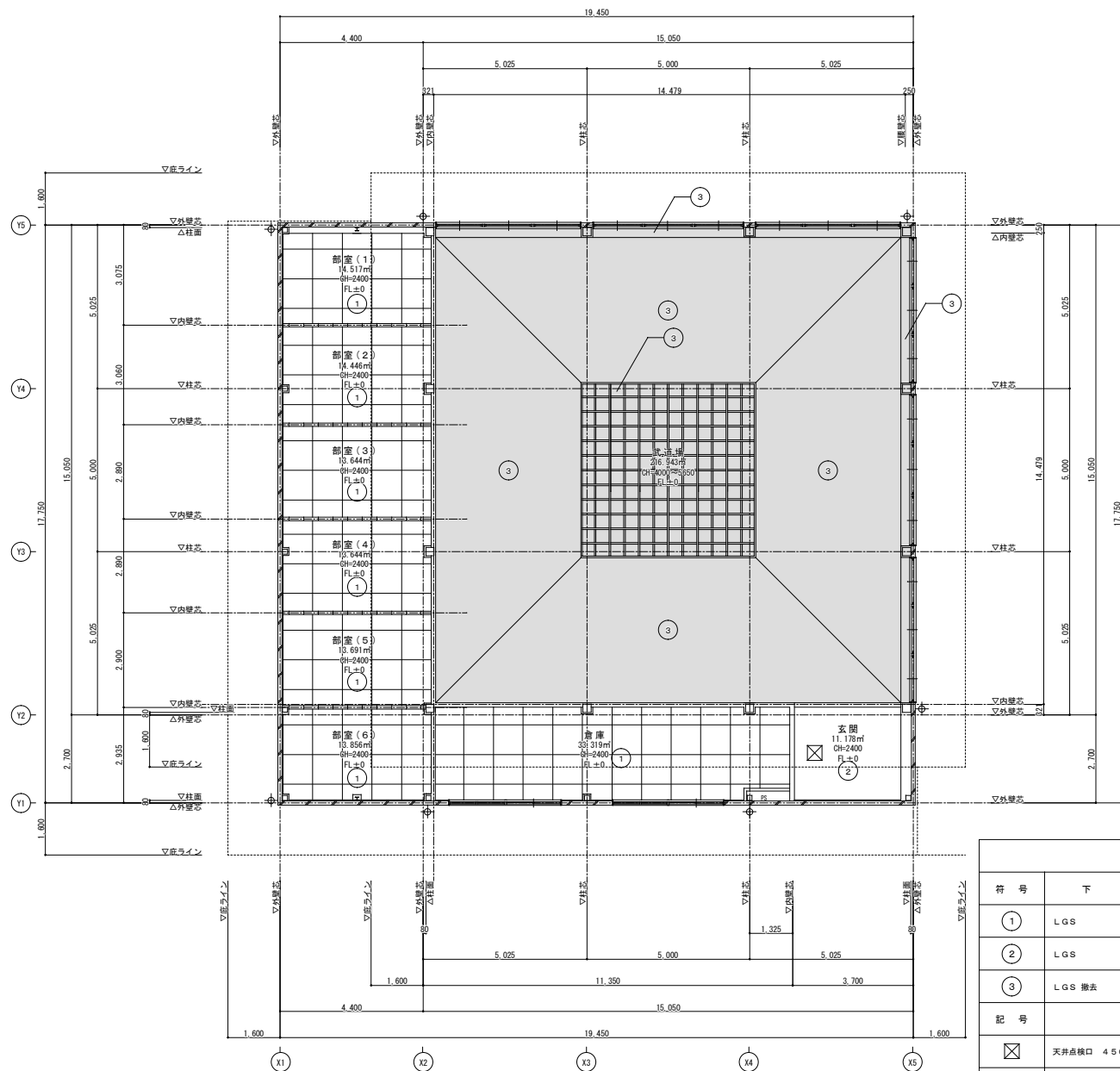
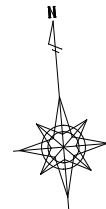
平面図 兼 仮設計圖平面図 (参考) $S = 1 / 100$

凡 例	
	天井改修範囲を示す。
	改修内容を示す。
	工事関係者出入口
	全面棚足場 シートラウণ合板 12×シート 全面敷結 作業床高さ 3.6m
	全面棚足場 シートラウণ合板 12×シート 全面敷結 作業床高さ 4.0m以上 5.7m未満

＜仮設計面特記事項＞

- ※仮設計面図は参考とする。
- ※床養生合板の根目は養生テープにて固定すること。
- ※本仮設図面に記載された仮設設備などは発注者側の核算上の考えを示したもので、施工条件として指定したものでないため、施工者の責任のもと十分検討したうえ施工すること。
- ※斜めのハッチングのない部分は脚立足場とする。

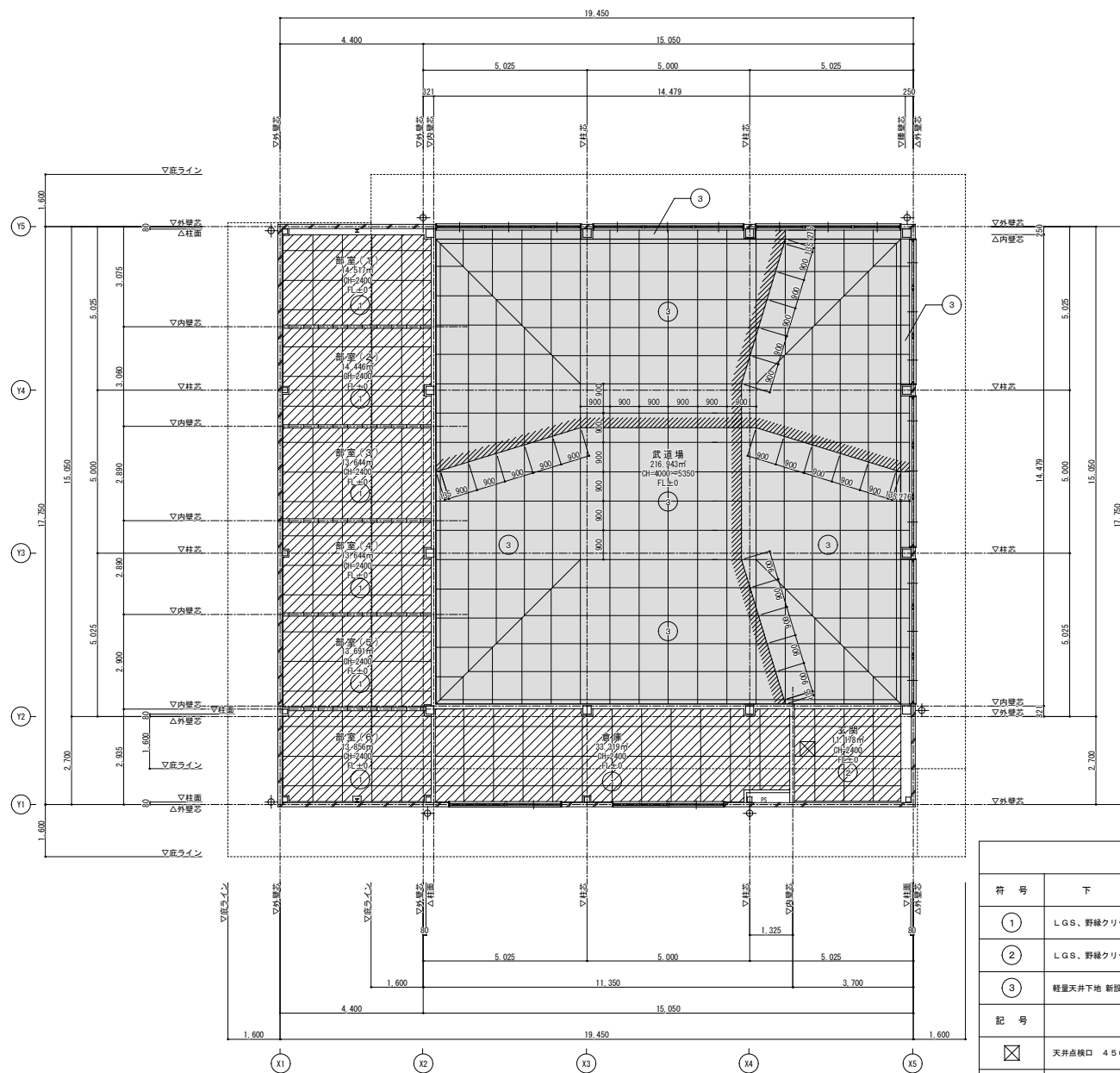
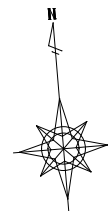
特 記			工事名 城 東 中 学 校 武 道 場 吊 天 井 耐 震 対 策 工 事							承 認				管 理 建 築 士		印
			図名 平 面 図 兼 仮 設 計 画 平 面 図 (参 考)			縮尺 1/100 (A2)		図面番号 A-07								
										図面提出日				2021 / 6 / 7		



天井伏図（現況） S = 1 / 100

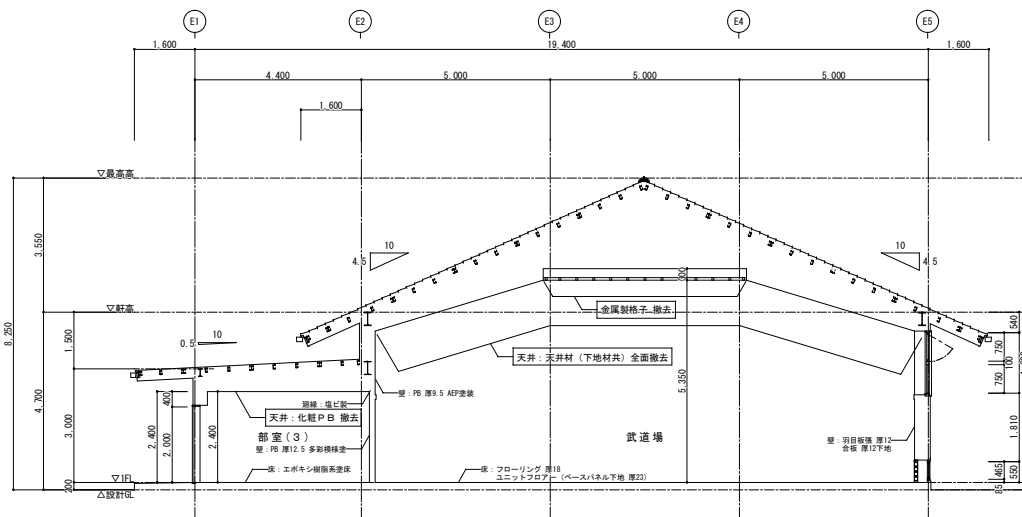
凡 例				
符 号	下 地	仕 上	廻 縁	備 考
①	LGS	化粧PB 厚9.5 撤去	塩ビ製	—
②	LGS	PB 厚9.5 AEP塗 撤去	撤去	—
③	LGS 撤去	PB 厚9.5 AEP塗 撤去	—	—
内 容				
☒	天井点検口 450角			
	天井撤去範囲を示す。(下地(吊ボルト共)・野縁共)			
	金属製格子天井 (メラニン焼付塗装) 50×65@450 撤去			

特 記	工事名 城 東 中 学 校 武 道 場 吊 天 井 耐 震 対 策 工 事					承認				管理建築士	印		
	図名 天 井 伏 図 （ 現 況 ）					縮尺 1 / 1 0 0 （ A 2 ）	図面番号 A - 0 8						
						図面提出日	2 0 2 1 / 6 / 7						

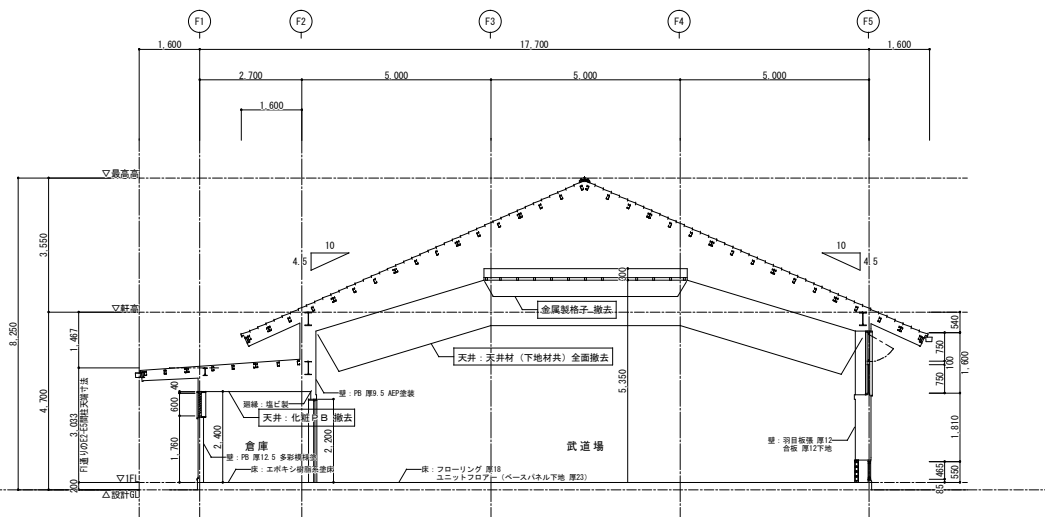


凡 例				
符 号	下 地	仕 上	廻 縁	備 考
①	LGS、野縁クリップ補強	化粧PB 厚9.5 新設	塩ビ製 (現状のまま)	—
②	LGS、野縁クリップ補強	化粧PB 厚9.5 新設	新設	—
③	軽量天井下地 新設	化粧ガラスウール板 厚25 新設	—	—
記 号	内 容			
☒	天井点検口 450角：仕上げ材 入れ替え			
■	軽量天井新設範囲を示す。			
▨	化粧PB新設範囲を示す。			

特 記			工事名 城 東 中 学 校 武 道 場 吊 天 井 耐 震 対 策 工 事								承認		管理建築士	印	
			図名 天 井 伏 図 (改 修)			縮尺 1 / 1 0 0 (A 2)	図面番号 A - 0 9								
								図面提出日 2 0 2 1 / 6 / 7							



A-A'断面図（現況） S = 1 / 100



B-B'断面図（現況） S = 1 / 100

〔凡例〕

文字 撤去内容を示す。

現況

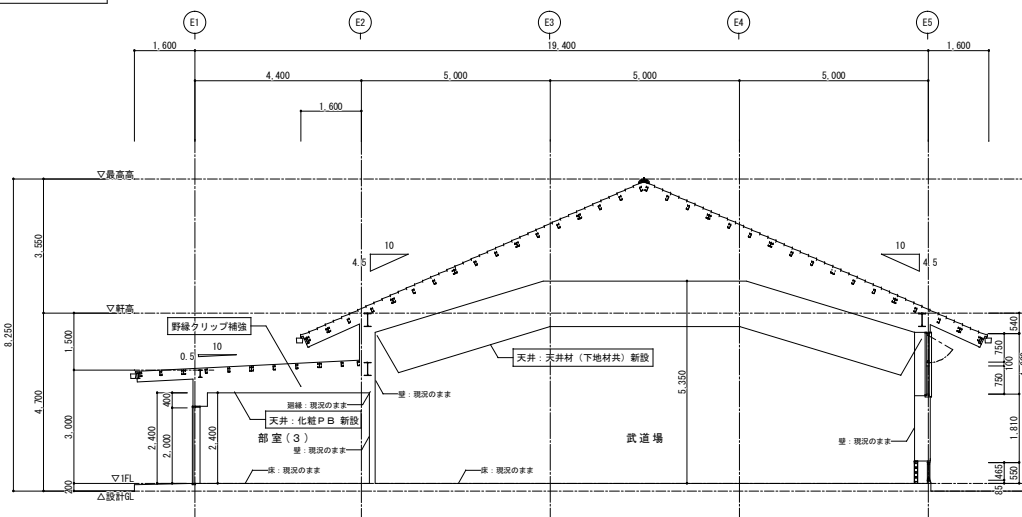


改修

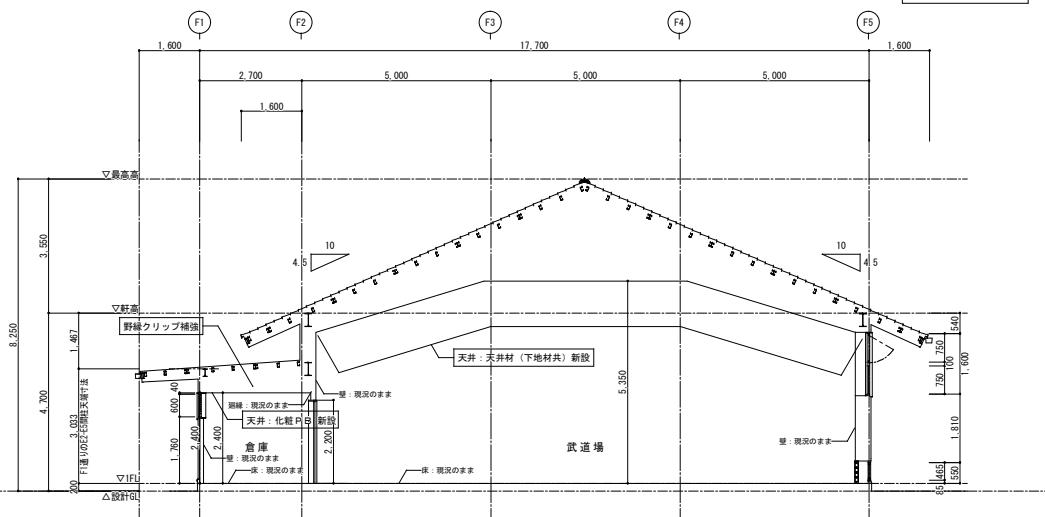
現況



改修



A-A'断面図（改修） S = 1 / 100

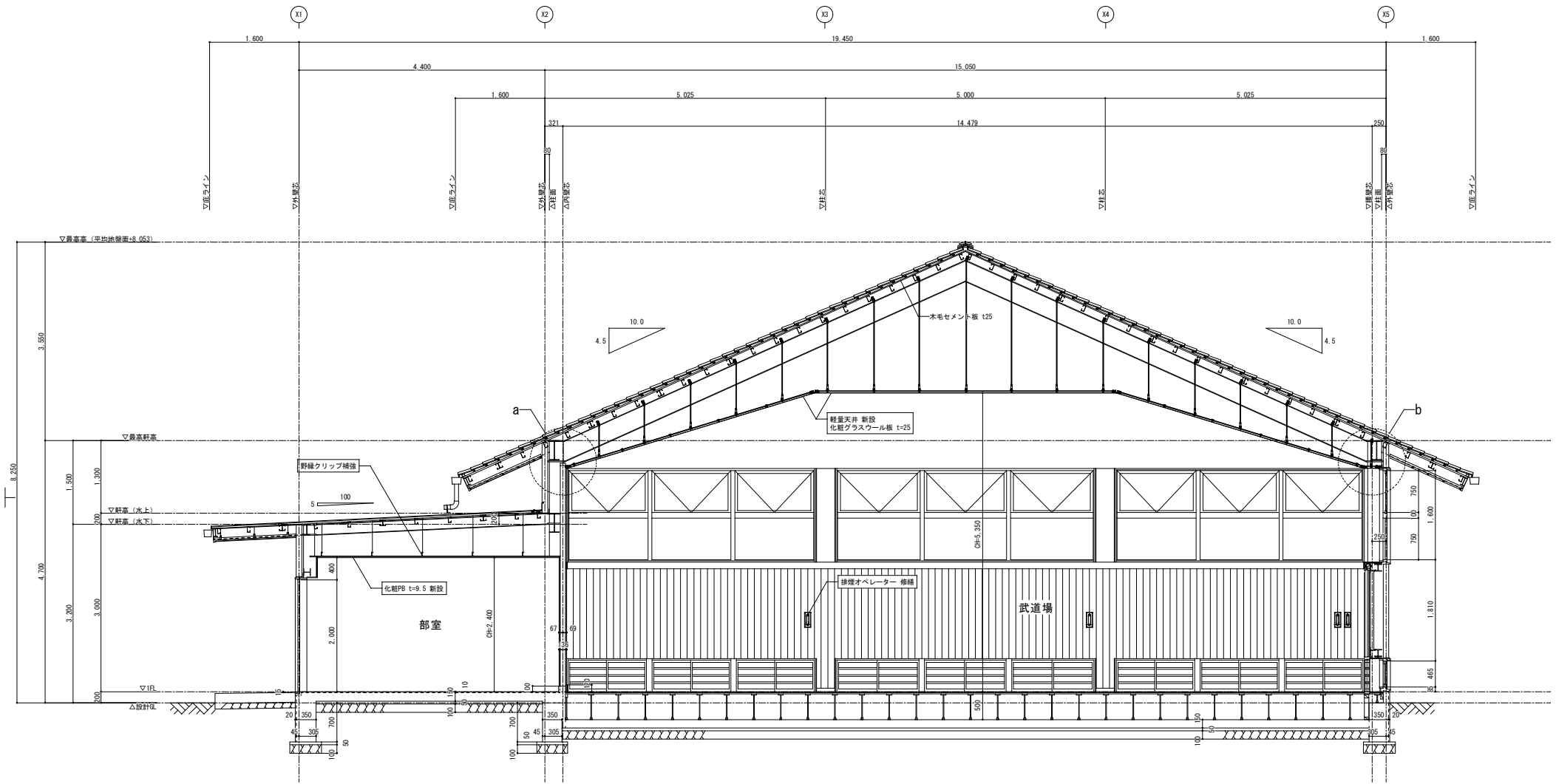


B-B'断面図（改修） S = 1 / 100

〔凡例〕

文字 改修内容を示す。

特記				工事名						承認		管理建築士	印
				城東中学校 武道場天井耐震対策工事									
				図名	縮尺	図面番号							
				断面図（現況・改修）	1/100（A2）	A-10					図面提出日	2021/ 6 / 7	

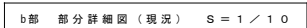
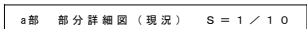


断面詳細図 (改修) S = 1 / 5 0

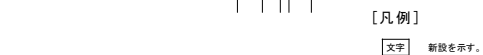
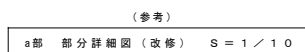
【凡例】

文字 改修内容を示す。

特 記	工事名						承認			管理建築士	印
	城東中学校 武道場吊天井耐震対策工事										
	図名		縮尺	図面番号							
	断面詳細図（改修）		1/50（A2）	A-12							
				図面提出日		2021/6/7					

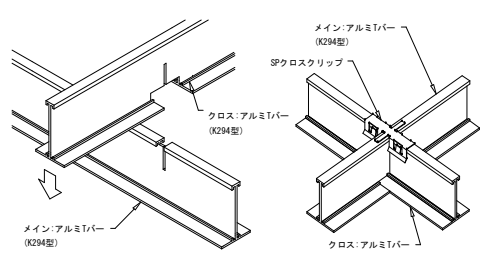
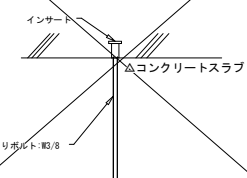
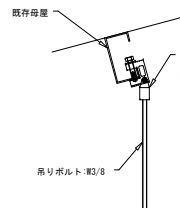
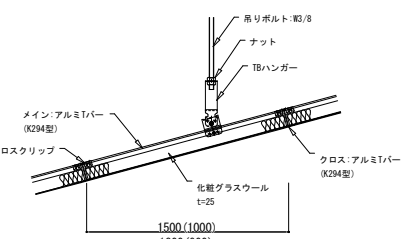
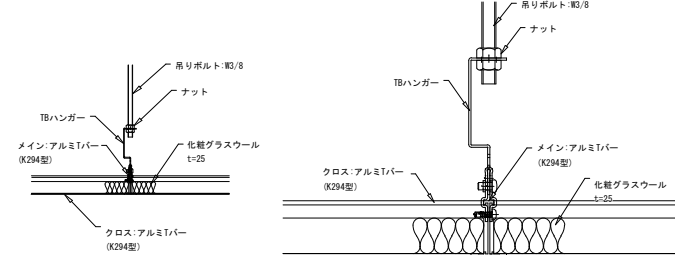
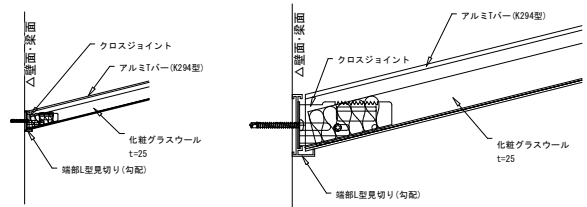
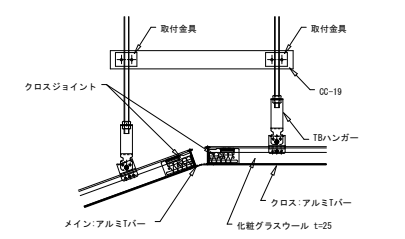
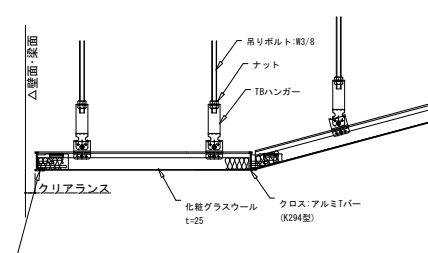
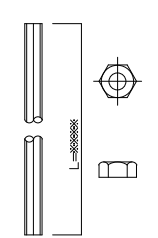
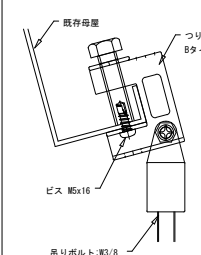
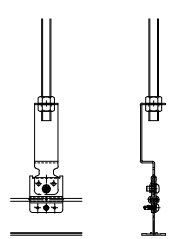
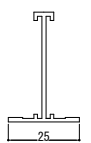
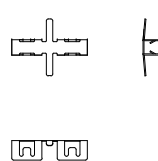
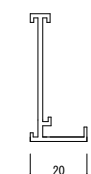
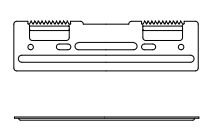
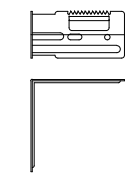
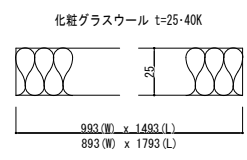
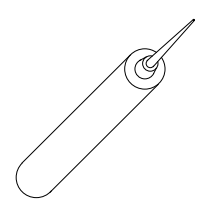
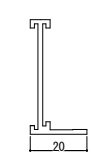


現況 → 改修

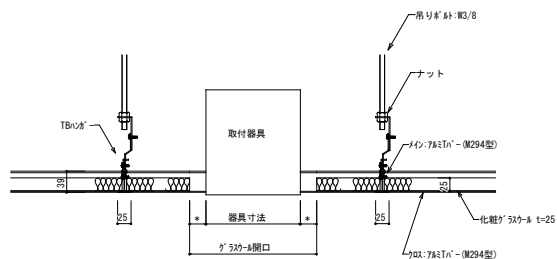
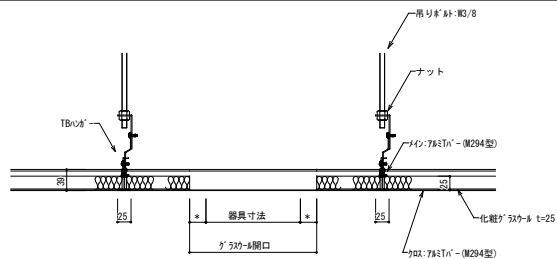


文字 新設を示す。

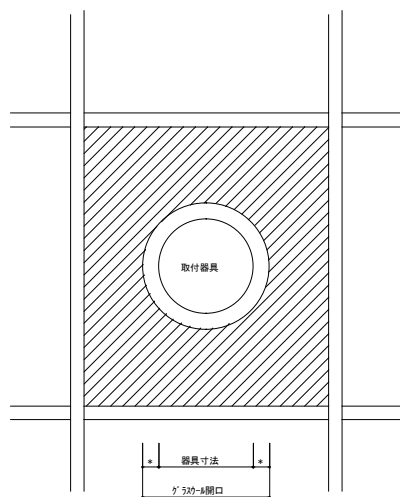
特 記	工事名		城 東 中 学 校 武 道 場 吊 天 井 耐 震 対 策 工 事				承 認		管理建築士	印
	図名		縮尺	図面番号						
	部分詳細図（現況・改修）		1 / 1 0 (A 2)	A - 1 3						
							図面提出日		2021 / 6 / 7	

1	アルミTバーメインクロス接合部			2	吊り部詳細図(コンクリートスラブ)			3	吊り部詳細図(勾配屋根母屋)			4	標準断面図(勾配)				
																	
5	標準断面図(接合部)				6	端部断面詳細図(勾配)				7	取合部断面詳細図						
																	
8	SLC工法 材料一覧表												9	端部断面詳細図(クリアランス)			
a	吊りボルト:W3/8ナット		b 母屋ハンガー		c TBハンガー		d アルミTバー(M294型)		e SPクロスクリップ		f 端部L型見切り(勾配用)						
																	
f 直ジョイント		g クロスジョイント		h 化粧グラスウール t=25 40Ki				i シリコンシール		j 端部L型見切り(水平用)							
																	

(A) 照明・設備取合（器具フェイス無、天井板とクリアランスを取る場合。）

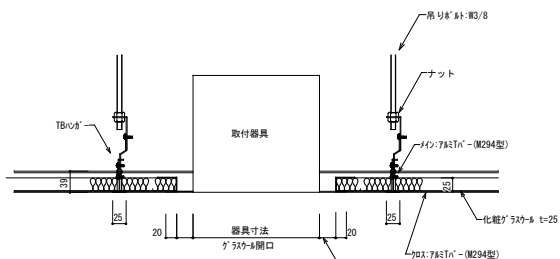
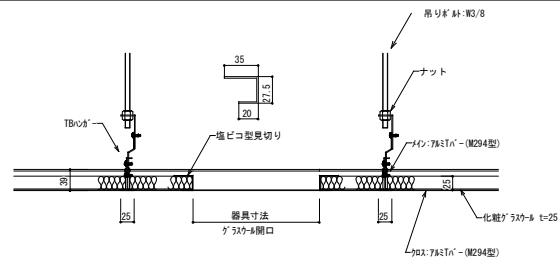


(注意) 取付金具は全て別吊りで、別途振れ止め補強が必要です。

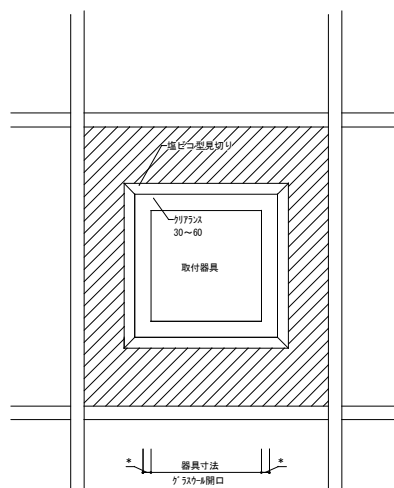


*…開口になります。グラスウール小口処理は打合せ願います。

(B) 照明・設備取合（天井板中央に取付ける場合。）

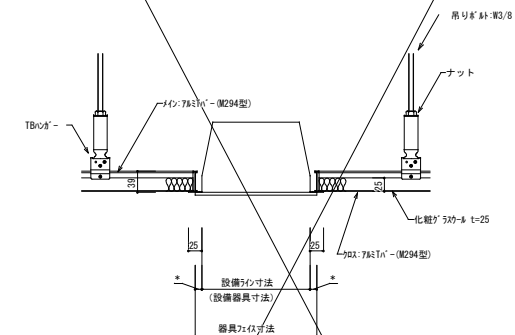
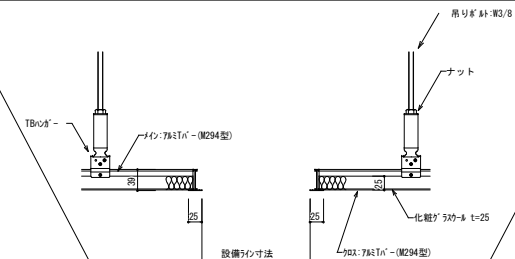


(注意) 取付金具は全て別吊りで、別途振れ止め補強が必要です。

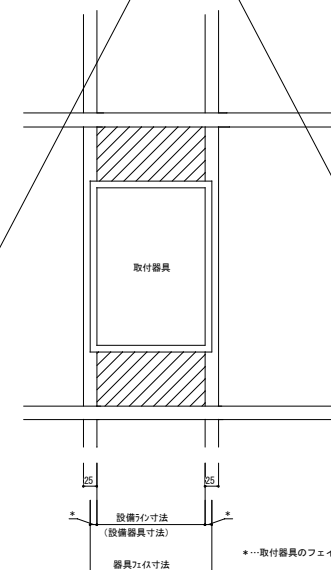


*…取付器具のクリア寸法（30～60）です。

(C) 照明・設備取合（器具フェイス有、設備ラインを設ける場合。天井重量に注意。）

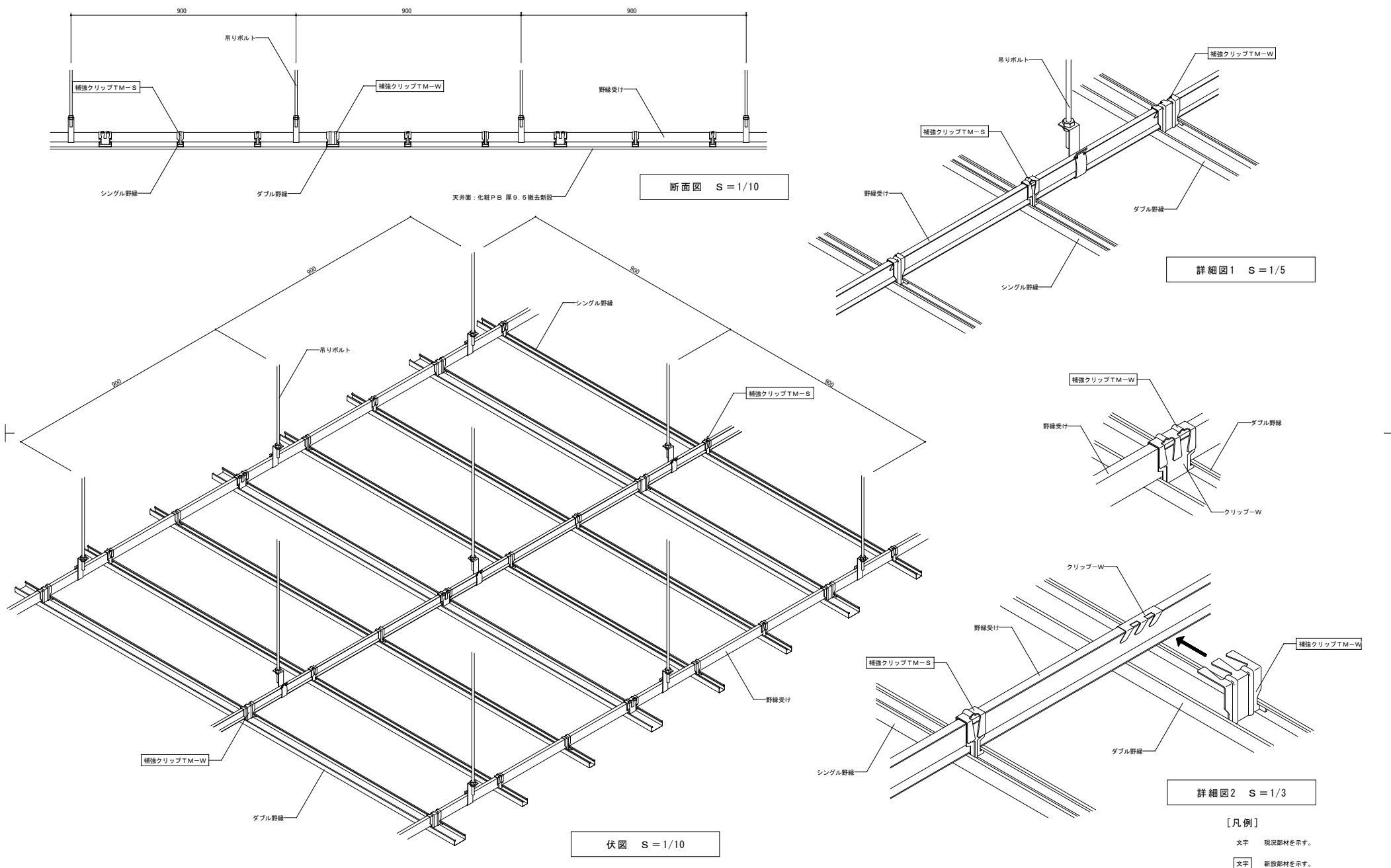


(注意) 取付金具は全て別吊りで、別途振れ止め補強が必要です。



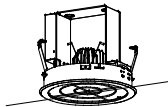
*…取付器具のフェイス寸法です。

特 記	工事名							承 認		管理建築士	印
	城 東 中 学 校 武 道 場 吊 天 井 耐 震 対 策 工 事										
	図名	縮尺	図面番号								
	軽重量天井 SLC工法詳細図 設備取り合い (参考)	—	A - 1 6								
								図 面 提 出 日		2021 / 6 / 7	

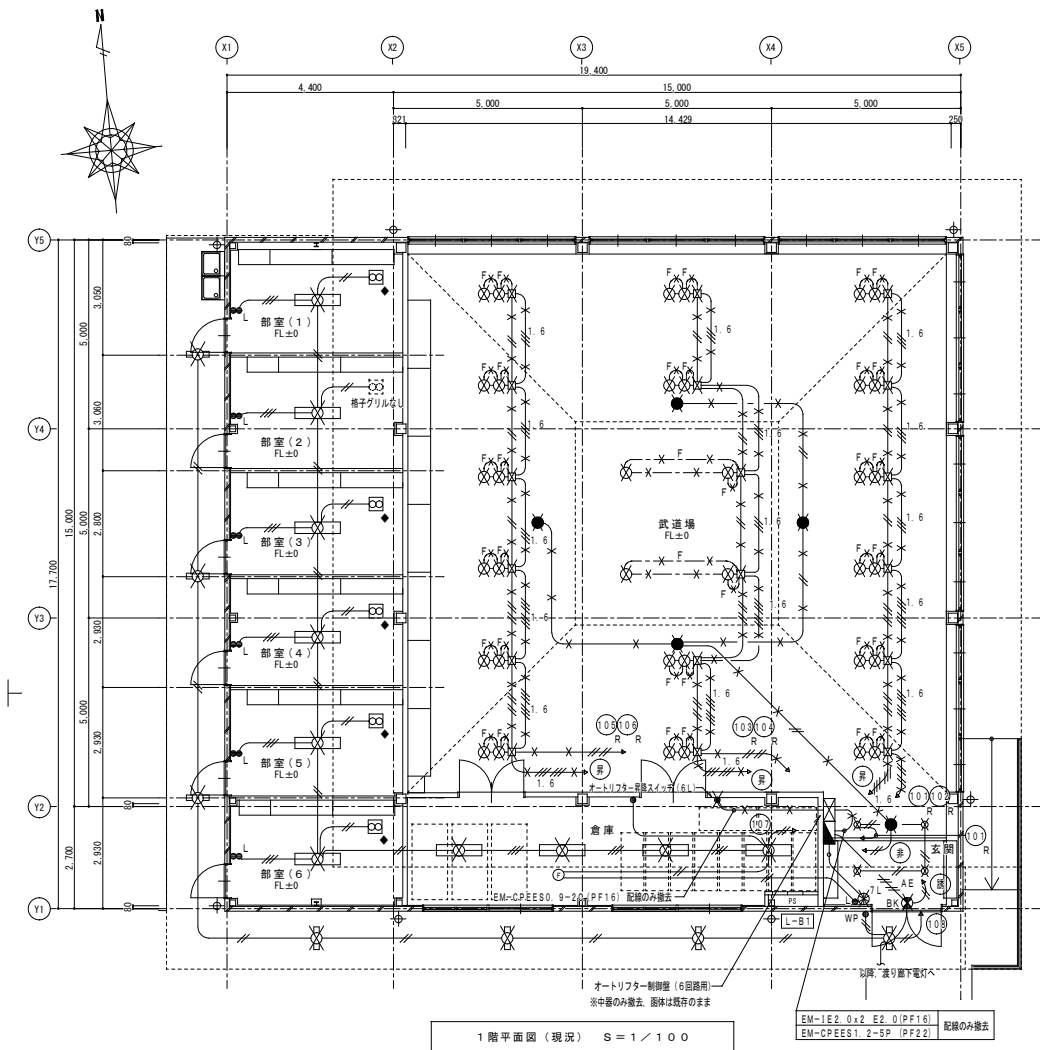


特 記				工事名 城 東 中 学 校 武 道 場 吊 天 井 耐 震 対 策 工 事							承認				管理建築士	印
				図名 補 強 ク リ ッ プ 納 ま り 詳 細 図 （ 参 考 ）			図尺 図 示		図面番号 A - 1 7						図面提出日 2021 / 6 / 7	

照 明 器 具 姿 図

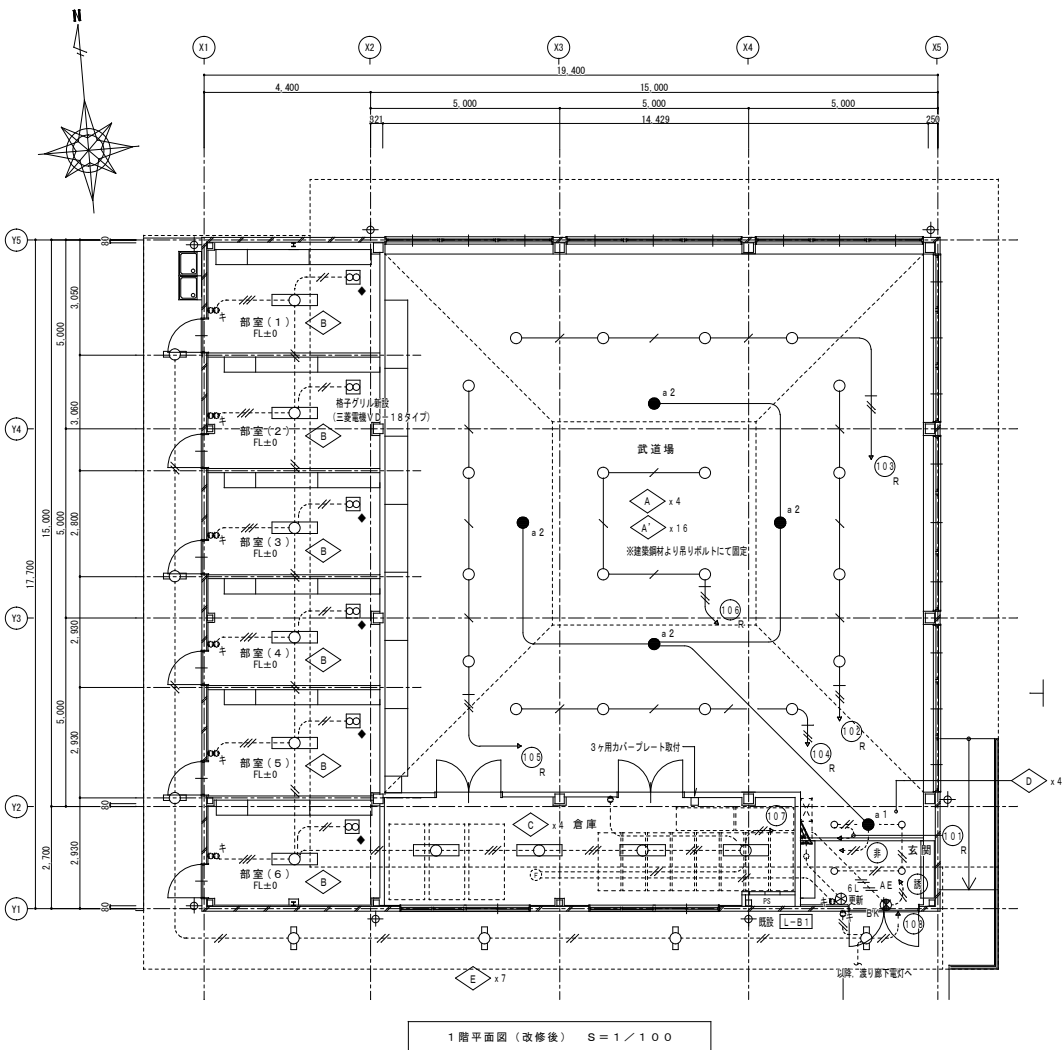
△A	LED高天井用ダウンライト LED1500形 下面ガード+拡散パネル付 消費電力106.7W	△B	一体型LEDベースライト 直付型 消費電力43.1W FHF32W×2 高出力相当 ガード付	△C	一体型LEDベースライト 直付型 消費電力20.6W FHF32W×1 高出力相当 ガード付	△D	LEDダウンライト LED150形 消費電力11.6W																																																																																																				
△A'	LED高天井用ダウンライト LED1500形 下面ガード+拡散パネル付 消費電力106.7W 傾斜天井取付特長					埋込穴φ150（既設と同様）																																																																																																					
埋込穴φ400 落下防止ワイヤー付  パナソニック XND9931PS LR9 相当品		LSS9-4-65+ガード		LSS9-4-30+ガード		LRS1-13																																																																																																					
△E	一体型LEDベースライト 防雨型 SUS製 消費電力6.0W FL20W×1 相当																																																																																																										
 LSS9MP/RP-2-07																																																																																																											
●a1	LED非常照明 自己点検機能付 低天井用 電池内蔵 ハロゲン電球13形 相当	●a2	LED非常照明 自己点検機能付 低天井用 電池内蔵 ハロゲン電球30形 相当	③BK	LED誘導灯 誘導方向点滅形 B級（B.L級） 電池内蔵																																																																																																						
LALF-004  K1-LRS11-2 <table><tr><td>器具取付高さ</td><td></td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td><td>4.0m</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>4.2</td><td>4.6</td><td>4.7</td><td>4.9</td><td>3.3</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A2</td><td>9.3</td><td>10.2</td><td>10.8</td><td>11.9</td><td>12.9</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>7.4</td><td>8.2</td><td>8.7</td><td>9.6</td><td>11.7</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td></td><td></td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table>		器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m				単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.9	3.3	—	—	—	直線配置	A2	9.3	10.2	10.8	11.9	12.9	—	—	—	四角配置	A4	7.4	8.2	8.7	9.6	11.7	—	—	—			—	—	—	—	—	—	—	—	LALF-006  K1-LRS11-3 <table><tr><td>器具取付高さ</td><td></td><td>2.1m</td><td>2.4m</td><td>2.6m</td><td>3.0m</td><td>4.0m</td><td>5.0m</td><td>6.0m</td><td>—</td></tr><tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>5.4</td><td>5.9</td><td>6.3</td><td>6.9</td><td>7.9</td><td>8.7</td><td>6.4</td><td>—</td></tr><tr><td>直線配置</td><td>A2</td><td>11.3</td><td>12.7</td><td>13.5</td><td>15.2</td><td>18.6</td><td>21.0</td><td>22.8</td><td>—</td></tr><tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>8.5</td><td>9.6</td><td>10.2</td><td>11.6</td><td>14.6</td><td>17.2</td><td>19.4</td><td>—</td></tr><tr><td></td><td></td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table>		器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	—	単体配置	A1	5.4	5.9	6.3	6.9	7.9	8.7	6.4	—	直線配置	A2	11.3	12.7	13.5	15.2	18.6	21.0	22.8	—	四角配置	A4	8.5	9.6	10.2	11.6	14.6	17.2	19.4	—			—	—	—	—	—	—	—	—	SH1-FSF20AF-BL 			
器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m																																																																																																					
単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.9	3.3	—	—	—																																																																																																		
直線配置	A2	9.3	10.2	10.8	11.9	12.9	—	—	—																																																																																																		
四角配置	A4	7.4	8.2	8.7	9.6	11.7	—	—	—																																																																																																		
		—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																		
器具取付高さ		2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	—																																																																																																		
単体配置	A1	5.4	5.9	6.3	6.9	7.9	8.7	6.4	—																																																																																																		
直線配置	A2	11.3	12.7	13.5	15.2	18.6	21.0	22.8	—																																																																																																		
四角配置	A4	8.5	9.6	10.2	11.6	14.6	17.2	19.4	—																																																																																																		
		—	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																		

特 記		工事名 城 東 中 学 校 武 道 場 吊 天 井 耐 震 対 策 工 事 図名 照 明 器 具 姿 図 縮尺 NS（A2） 図面番号 E-02		承 認	管 理 建 築 士 印
				図 面 提 出 日 2021 / 6 / 7	



1. 記入なき配管配線は下記とする
- EM-IE1. 6x3 (PF16)
 - EM-IE1. 6x5 (PF22)
 - EM-IE2. 0x2 (PF16)
 - EM-IE2. 0x3 (PF16)
 - EM-IE2. 0x4 (PF16)
 - EM-IE2. 0x5 (PF22)
 - EM-AE1. 2-4C (PF16)
 - EM-CPEES1. 2-2C (PF16)
 - EM-EEF1. 6-3C ころがし
 - EM-EEF2. 0-2C ころがし
2. 凡 例
- 印は撤去を示す
 - 印は一時取外しを示す
 - 実線の模様、配管配線は既存のまます
 - スイッチ IP15Ax1
 - スイッチ IP15Ax1
 - スイッチ IP15Ax1+IP15Ax1
 - リモコンスイッチ L 数字は個数を示す
 - アウトレットボックス
 - 天井換気用格子グリルのみ取外しを示す

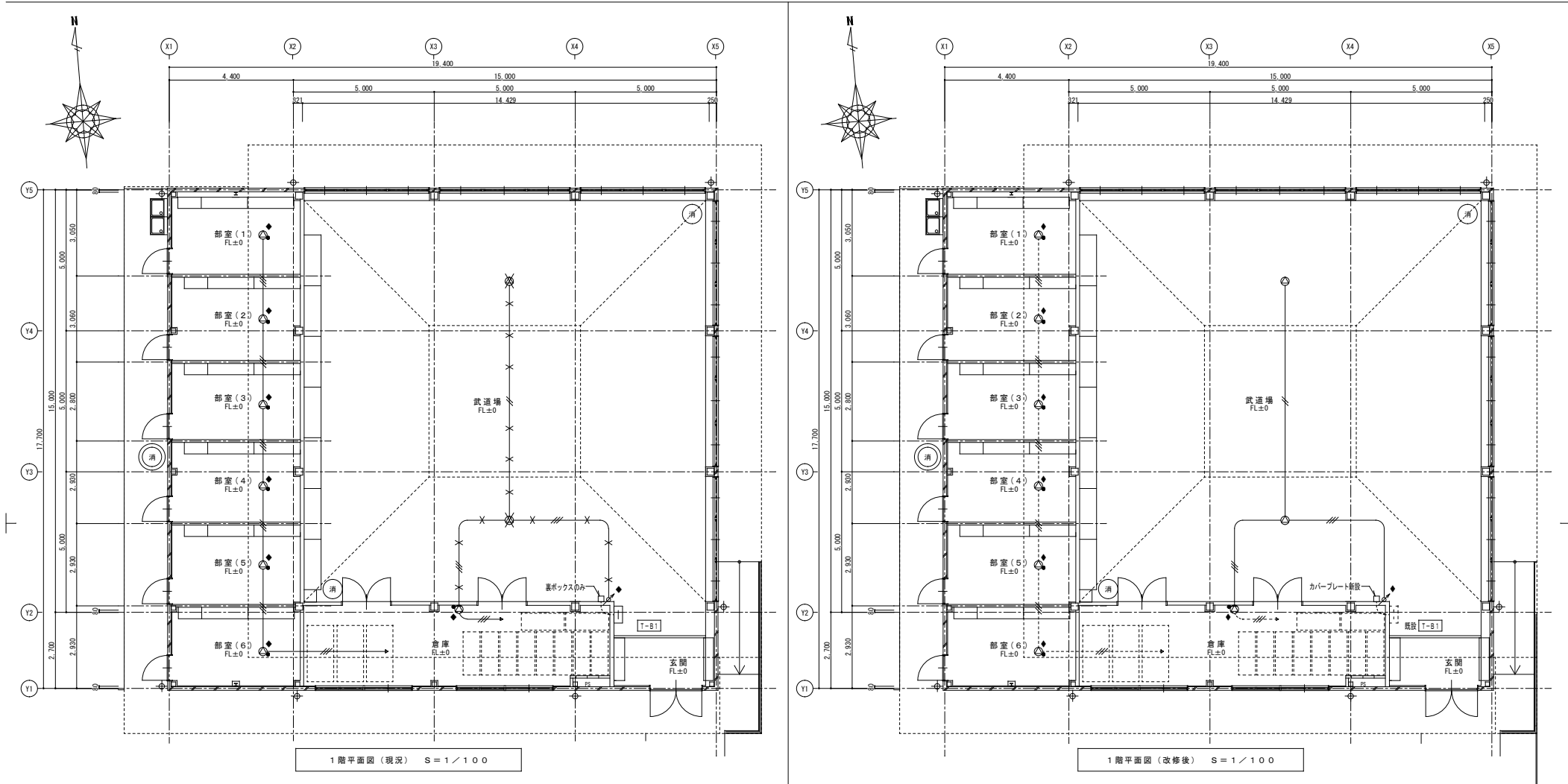
部屋1	逆富士型	ガード付	FHF32Wx2	1個	撤去	
部屋2	逆富士型	ガード付	FHF32Wx2	1個	撤去	
部屋3	逆富士型	ガード付	FHF32Wx2	1個	撤去	
部屋4	逆富士型	ガード付	FHF32Wx2	1個	撤去	
部屋5	逆富士型	ガード付	FHF32Wx2	1個	撤去	
部屋6	逆富士型	ガード付	FHF32Wx2	1個	撤去	
武道場	高天井用ダウンライト	FHT42Wx3	電動昇降付	36個	撤去	
	非常灯	JE30Wx1	電池内蔵型	特高天井用		4個
	非常灯	JE13Wx1	電池内蔵型			1個
玄関	ダウンライト	FHT32Wx1		4個	撤去	
	避難口誘導灯	冷陰極管光x1	電池内蔵型	1個		
倉庫	逆富士型	ガード付	FHF32Wx2	4個	撤去	
連絡	逆富士型	防雨型	FL20Wx1	7個	撤去	



既設 L-BT 改修内容

※ 既設オートリフター電源回路を予備ブレーカに変更

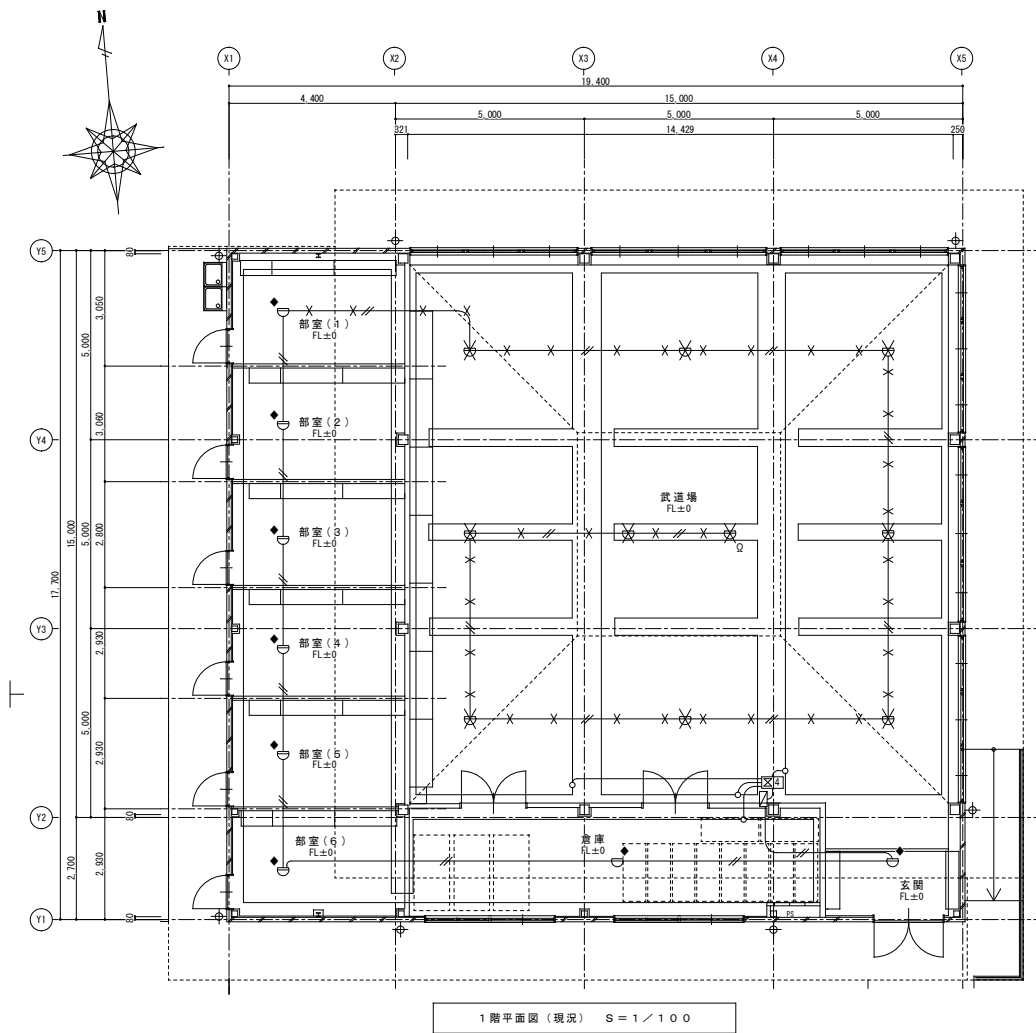
1. 記入なき配管配線は下記とする
- EM-EEF2. 0-3C (107-ス) 天井ころがし
 - EM-EEF1. 6-3C (107-ス) 天井ころがし
 - EM-EEF1. 6-2C 天井ころがし
2. 凡 例
- 実線の模様、配管配線は既存のまます
 - 点線の模様、配管配線は撤去のまます
 - 印は再取付を示す
 - 天井換気用格子グリルのみ再取付を示す
3. 回路番号は既設回路を流用とする



- 特記事項
1. 記入なき配管配線は下記とする
- EM-HP1. 2-ZC (PF16)
- EM-HP1. 2-3C (PF16)
2. 凡 例
- 印は撤去を示す
- 印は一時的取外しを示す
- 実線の機器、配管配線は既存のままとす
- 天井増込スピーカー
- 天井増込スピーカー ATT付
- 壁付スピーカー ATT付
- アッテネーター
3. 図示なき機器配管配線は既存のままとす

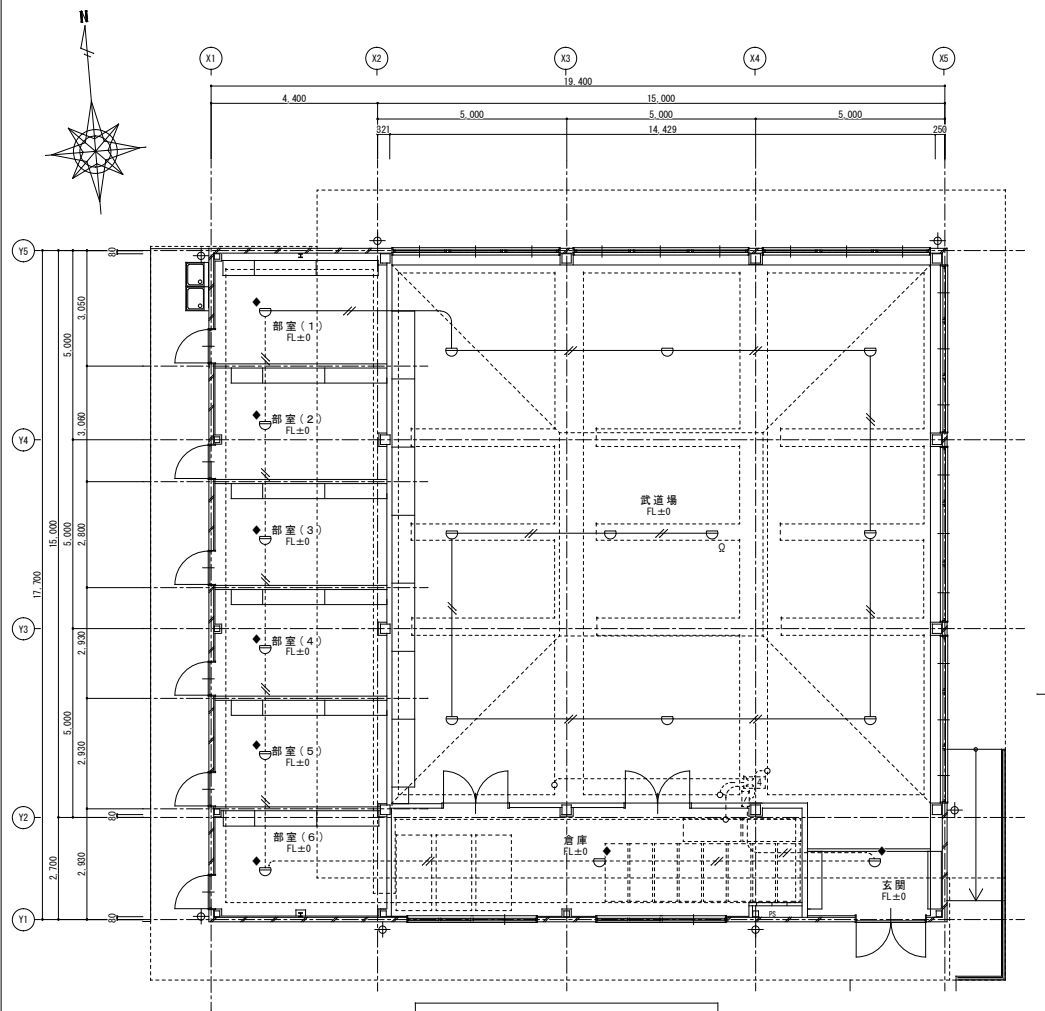
- 特記事項
1. 記入なき配管配線は下記とする
- EM-HP1. 2-ZC (PF16)
- EM-HP1. 2-3C (PF16)
- ※ 二重天井内はケーブルこがしとする
2. 凡 例
- 実線の機器、配線は新設を示す
- 点線の機器、配管配線は既存のままとす
- 印は再取付を示す
- 天井増込スピーカー
- 天井増込スピーカー ATT付
- 壁付スピーカー ATT付
- アッテネーター
3. 図示なき機器配管配線は既存のままとす

特 記			工事名									承認		管理建築士	印	
			城 東 中 学 校 武 道 場 吊 天 井 耐 震 対 策 工 事													
			図名		縮尺	図面番号										
			弱電設備 1階平面図		1/100 (A2)	E-04								図面提出日		2021 / 6 / 7



1階平面図（現況） S=1/100

- 特記事項 ——
- 記入なき配管配線は下記とする
EM-AE0. 9-2C (PF16)
空気管 メッセージャ付
 - 凡 例
X 印は撤去を示す
◆ 印は一時的取外しを示す
実線の機器、配管配線は既存のままを示す
○ 差動式スポット型熱感知器 露出型 2種
X 差動式分布型熱感知器 検出部 4個用
○ 総合盤 ○ 収容
○ P型1級発煙機
○ 表示灯
 - 図示なき機器及び配管配線は既存のままとする



1階平面図（改修後） S=1/100

- 特記事項 ——
- 記入なき配管配線は下記とする
EM-AE0. 9-2C (PF16)
※ 二重天井内はケーブルこがしとする
 - 凡 例
実線の機器、配線は新設を示す
点線の機器、配管配線は既存のままを示す
◆ 印は再取付を示す
○ 差動式スポット型熱感知器 露出型 2種
X 差動式分布型熱感知器 検出部 4個用
○ 総合盤 ○ 収容
○ P型1級発煙機
○ 表示灯
 - 図示なき機器及び配管配線は既存のままとする

特 記			工事名		城 東 中 学 校 武 道 場 吊 天 井 耐 震 対 策 工 事								承 認		管 理 建 築 士	印		
													┆ ┆ ┆ ┆ ┆					
													┆ ┆ ┆ ┆ ┆					
													┆ ┆ ┆ ┆ ┆					
			図名		自動火災報知設備 1階平面図		縮尺	1/100 (A2)	図面番号	E - 05							図 面 提 出 日 2021 / 6 / 7	